

# ARTZONE SELECTION 2011

Press Release

vol.1

2011年3月吉日  
報道関係各位

2011年4月29日(金・祝) — 5月15日(日)

## ごあいさつ

早春の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
この度、art project room ARTZONEは『ARTZONE SELECTION 2011』展を開催いたします。  
つきましては貴社にて取材及び掲載をお願い致したく、ご案内申し上げます。  
何卒ご検討賜りますよう、お願いいたします。

『ARTZONE SELECTION』とは、スタッフが推薦する複数のアーティストによる、オムニバス形式の展覧会です。ARTZONEならではの実験的な企画・展示、異なるジャンルのアーティストがコラボレーションを行うことで、アーティスト自身の新たな可能性を探り、またARTZONEのポテンシャルを引き出していくことを目的としています。

今年、画家のいちかわともこ（推薦：小林稜治）と版画家の科野和子（推薦：加藤彩世）による2人展です。

いちかわともこは、“祈り”や“聖堂”などをモチーフに多用しながら、特定の宗教ではなく、各々の心の中にある個人的な「信仰」を呼び起こす作品を数多く制作しています。柔らかな色調と絵本のような素朴な画風が特徴で、その表現方法は絵画や陶芸、絵本など多岐にわたります。また、頭からすっぽりと布に包まれた人物が作中に頻りに登場することから、オリジナルのマトリョーシカも制作しています。

一方の科野和子は、植物や昆虫、魚といった生物の一部をクローズアップしたかのような繊細な銅版画を主に制作しています。近年では、背景を黒一色にした作品をたて続けに発表。緻密な線によって暗闇に描き出されるそれらは、私たちの奥底に眠る原始的な記憶や感情を思い起こさせ、まるで瞑想しているかのような感覚を与えてくれます。

ARTZONEスタッフの推薦により、今回、偶然に出会った2人ですが、お互いの作品の根底には不思議と共通するものがありました。刻一刻と変化し、過ぎ去っていく日々。彼女らはそれを愛し、そこに生き、感じたことを作品へと織り込んでいきます。

本展では、日々の生活のなかで積み重なっていく時間と記憶を「地層」として捉え、会場全体を「心のろ過装置」に見立てます。そして、私たちの日々の営みから生まれ、さまざまなイメージが複雑に絡み合う「感情」を透過させ、純化させていくことを試みます。1階のガラス貼りの空間から、螺旋階段を登って2階へ。夜から朝へ、そしてまた朝へと移り変わる時間と空間の中に佇む2作家の作品は、静かに、確かに悲しみや憂いを明日を生きる力へと置き換えるきっかけを与えてくれることでしょう。

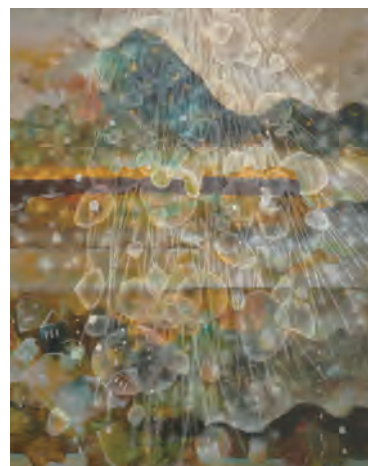
(ディレクター 小林稜治 京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科2回生)

## 展覧会概要

展覧会名 | 『ARTZONE SELECTION 2011』  
期 間 | 2011年4月29日(金・祝) — 5月15日(日)  
会 場 | art project room ARTZONE  
時 間 | 平日:13:00—20:00 土日祝:12:30— (最終日は17:00まで)  
出展作家 | いちかわともこ / 科野和子  
担 当 | ディレクター:小林稜治・加藤彩世 / 現場ディレクター:郡司菜々美  
広報ディレクター:加藤彩世 / マネージャー:似内達吉

本展に関するお問い合わせ

E-mail [info@artzone.jp](mailto:info@artzone.jp) Tel 075-212-9676 (担当:加藤彩世)



展覧会イメージ

## 出展作家プロフィール



## いちかわともこ Tomoko Ichikawa

1978年、大阪生まれ。2001年に京都精華大学デザイン学部マンガ専攻卒業。同年、任天堂に入社し、2008年に退社。在学中から絵本を出版し、現在はフリーの作家として活動中。

- 2001年 「INANESOICHI」(恵文社)  
 2003年 「エホンノミライ SPECIAL」(neutron)  
 2006年 「ichikawa tomoko」(雨林舎)  
 2008年 「リリオホワイト」(文椿ビルヂング)  
 2009年 「ザ・パレスサイドホテル」(ザ・パレスサイドホテル)  
 「ものづくり展」(雑貨屋たより)  
 「箱の中の記憶」(neutron)  
 2010年 「屋根裏の小さな聖堂」(neutron)

作家HP: [http://www.ichikawatomoko.com/ichikawa\\_tomoko/Top.html](http://www.ichikawatomoko.com/ichikawa_tomoko/Top.html)



## 科野和子 Kazuko Shinano

1985年、兵庫県生まれ。2009年に京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科版画表現卒業、2011年に同大学院芸術研究科芸術表現専攻修了。

- 2009年 「第54回 CWAJ現代版画展」(東京アメリカン・クラブ)  
 「10の言葉と2の話/2人展」(アーツスペース虹)  
 「30×30の窓/版画ポートフォリオ展」(ギャラリー恵風)  
 「日本版画協会第77回版画展」(東京都美術館)  
 2010年 「つながるイメージ展」(アーティストロンク)  
 「第55回 CWAJ現代版画展」(東京アメリカン・クラブ)  
 「新鋭展」(JALFO)  
 「記憶のカタチ展」(立体ギャラリー射手座)

作家HP: <http://sakanano-ashiato.com/>

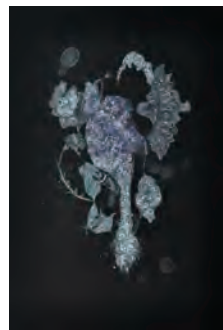
## 作品画像



いちかわともこ 《左目から落ちる涙》



いちかわともこ 《5人の賢者〜木人〜》



科野和子 《いつか鳥の羽根であった一欠片は、今日生まれて来る者の手となる》



科野和子 《いつか鳥の羽根であった一欠片は、今日生まれて来る者の手となる》部分

## 昨年のセレクション展

## 『ARTZONE SELECTION vol.1 —アートマンションの住人達—』

ARTZONE スタッフが選出した、写真、日本画、ライブペインティング、サウンドなど、異なる表現形態をとる4作家による展覧会。ARTZONEを背景の異なる人々が入居するマンションに見立て、会期中は2階の展示会場に4つの部屋が出現させた。また、アーティストの「部屋」に訪れることで、出展作家や鑑賞者が新たなインスピレーションを得たり、異なる分野への興味を抱いてもらうことを目的とした。

《会期》2010年3月27日(土)～4月11日(日) 《出展作家》北野諒/鬼頭祈/山下恭平/MadRice



〒604-0014

京都市中京区河原町三条下ル

一筋目東入ル大黒町44 VOXビル1・2F

<http://www.artzone.jp/>

Tel・Fax 075-212-9676 E-mail [info@artzone.jp](mailto:info@artzone.jp)

平日 13:00-20:00 土日祝 12:30-20:00

※ 展覧会期間外は上記の時間内でも電話にでられない場合がございます。

お手数ですが、その際はメールでご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

